



**◀みんなが主役  
笑顔で広がるまなびの輪**

11月3日から4日にかけて笠岡市生涯学習フェスティバルが行われました。

フェスティバルのオープニングとして2日の夜には遍照寺多宝塔の内部の一般公開と野外コンサートが開催されました。

3日、4日にはスピーチコンテスト、チアダンス、伝統芸能などさまざまな舞台発表があり大勢の観客で賑わいました。



**▶干拓地を疾走**

11月18日、「第11回いふあーむ笠岡マラソン大会」が笠岡陸上競技場を発着点として開催されました。時折冷たい風が吹くなか、全国から約1200人が参加し、広大な干拓地を駆け抜けました。

またレースを終えた選手には笠岡市婦人協議会から温かい豚汁が用意され、みんな笑顔でほおぼっていました。

**◀大道芸やダンスで秋を満喫**

笠岡の秋の恒例行事「いちょう祭りかさおか」が11月11日、笠岡商店街と県庁通り一帯で開催されました。

市役所前のステージでは、保育園児の鼓笛隊や和太鼓演奏に始まり、バトントワリング、お馴染みの大道芸などが次々に行われ、集まった多くの観客から大きな拍手が送られていました。

また、会場には、子どもふろしき市やフリーマーケットなどが出店され大勢の家族連れでにぎわいました。



**▶カブトガニのすみやすい海を**

11月1日、神内小学校で魚の生息場や沿岸の保全に役立つ海草であるアマモの植え付けが行われました。

日本カブトガニを守る会笠岡支部の呼びかけで行われ、こどもたちは海砂をつめた袋にアマモの種をまき、海水の入ったガラス瓶の中に沈めました。苗は子どもたちが自宅ですべて、海中に移植されます。

